

第 36 回大分 NST 研究会報告

2023 年 6 月 24 日、大分市ホルトホールにおいて、第 36 回大分 NST 研究会を「NST における栄養素の重要性～栄養組成を再考する～」をメインテーマに開催させていただきました。今回は COVID-19 感染症が 5 類感染症に移行したことから、予定通り集合形式での開催にこぎつけ、170 名を超える多くの方々にお集まりいただくことができました。今回の研究会の特色として初めて歯科の先生からも 2 演題ご発表いただき、多くの歯科医師や歯科衛生士等の歯科関連職種の方々の参加が新たに増えた特色のある会となりました。

一般演題では、4 名の先生方にご発表いただきました。大分県医療生活協同組合けんせい歯科クリニックの高濱達生先生、地域医療機能推進機構南海医療センターの二日市琢良先生、豊後大野市民病院の板井義通先生、大分大学医学部附属病院の園田理沙子先生、素晴らしいご発表ありがとうございました。歯科による VE の活用、担癌透析患者における栄養管理、食思不振患者への NST 介入、NST 介入により改善を得た上腸間膜動脈症候群患者と、貴重な気付きを得られ今後の参考になるご発表ばかりでした。

基調講演は 2 演題あり、株式会社大塚製薬工場臨床応用開発の鴨下悟先生より「臨床栄養領域のリアルワールドエビデンス」についてと医療法人鶴岡クリニックの森崎重規先生より「病院から生活の場へ繋げるアナログツール（大分 NST 研究会と大分県歯科医師会との共同事業）」という演題でご講演いただきました。

基調講演 1 では、臨床研究のゴールドスタンダードである RCT と近年注目されている RWD を用いた研究の違いについて解説いただき、今後の臨床研究の新たな可能性について知ることが出来、大変有意義でした。

基調講演 2 では、講師の森崎先生のご都合により急遽、動画配信になりましたが退院時に病院からの身体情報を基に、介護現場において患者さんの口腔内トラブルや低栄養への気付きを促すことに繋がる情報伝達のツールが有用であり、医療現場の連携を促進させるツールとしての活用が期待されます。

特別講演は、新潟厚生連上越総合病院消化器内科部長の合志聡先生に「末梢静脈栄養の指南書」～三大栄養素を考慮した理想の末梢静脈栄養メニュー～という演題のもとにご講演いただきました。脂肪乳剤の使用頻度は近年高まってはいますが、医療従事者の中にはまだまだ積極的な使用をされていないケースも有ります。その問題点としては、添付文書上の禁忌項目やルート管理などがあること。しかしながら、これらの問題点は解決できるケースも多く、安全で有効な使用方法が確立されつつあることがわかりました。普段からの講演スキルを十分に発揮いただき、大変楽しくかつ勉強になる時間でもっと聴きたいと思う講演でした。

最後になりましたが、今回共催いただきました株式会社大塚製薬工場様、事務局を始めご尽力をいただきました関係者の皆様に御礼申し上げます。次回は共催が未定となっておりますが、「大分 NST 研究会の力」を合わせて次回も大変有意義な会になると信じております。

第 36 回大分 NST 研究会当番世話人 豊後大野市民病院 加島 尋

